

宅地擁壁における大型ブロック（イーグルボックス）の使用にあたって

依頼主へのお願い

イーグルボックスは、公共事業において多数の実績があるものの、大臣認定（第14条認定）は取得していません。一般的な認識として、宅地擁壁は第14条の規定によるものと考えられておりますが、第6条～第10条の規定を満足する場合は、（構造計算において安全性を確認。）この限りではありません。

従って、安全性が設計計算書により確認できれば使用可能と解釈できます。

但し、これは各機関によって方針が異なりますので申請される機関へ必ず御確認の上、下記の御指示をいただきますよう宜しくお願いいたします。

イーグルボックス積擁壁を本物件（物件名： ）の宅地擁壁として使用する。（可 ・ 不可）

依頼主確認印 印

宅地用イーグルボックス積擁壁設計資料作成願い

設計依頼日 令和 年 月 日
提出先 提出希望日 令和 年 月 日

依頼者	官公庁	設計コンサル	建設業者	その他（ ）	該当するところに○
上記名称	TEL FAX e-mail アドレス			担当者名 (内線)	
工事名 又は場所					
営業方法	VE提案	設計折込	民間工事	該当するところに○	
施工時期	施工時期	令和 年 月 頃			

依頼物件の設計条件

背面土の土質定数	$\gamma =$ kN/m ³ $\phi =$ ° $C =$ kN/m ² または土質調査による (一般の場合 $\gamma = 19$ kN/m ³ $\phi = 30$ ° $C = 0$ kN/m ²) 背面土の形状 盛土 切土 岩盤				
基礎地盤	基礎地盤の種類	土砂・岩	摩擦係数 $\mu =$	許容地盤反力 $q_a =$	kN/m ²
	(一般の場合 $\mu = 0.6$ $q_a = 300$ kN/m ²)				
上載荷重	自動車荷重	10kN/m ²	宅地荷重	kN/m ²	その他()荷重 kN/m ²
擁壁高さ	直高 $H =$	m ~ m	ブロック積高・地盤からの高さ（基礎は含まず）		
法面勾配	1 : (ブロック積勾配)				
設計規模	施工延長 $L =$	m	施工面積 $A =$	m ²	
その他	基礎ボックス（使用する・使用しない） 衝突荷重 $P =$ kN 水位 擁壁天端から m 既設計の設計計算書（ある・ない） その他考慮する条件等（ ）				
借用資料	設計図面（平面図 縦断面図 標準断面図 横断面図 展開図 構造断面図） 座標値 図面データ（Auto Cad・JW-Cad・dxf） ※返却（要・不要）				

依頼者承認欄

上記の設計条件に基づき設計資料を作成してください。

サイン

提出資料

設計計算書	平面図	展開図（割付図）	構造図	施工歩掛	製品個数	数量計算書
経済比較表	図面（数量）データ		見積	その他資料（ ）		

受託者	開発部長	設計部長	設計担当	営業担当

物件の採用状況（採用 ・ 不採用）

不採用の場合はその理由を明示

照査	承認	照査	作成